



第62回
全国

七大学総合
体育大会

in
東京

今年度第62回東京大会マスコット

イチ公

"イチ公"は

①旧制一高（東京大学教養学部の前身）

②忠犬八子公（東大農学部上野教授の飼い犬）

を名前の由来として誕生したマスコットキャラクターです！

第62回全国七大学総合体育大会では公式マスコットキャラクターとして大会を盛り上げていきます！

ぜひイチ公と一緒に選手たちを応援しましょう!!



第62回 全国七大学総合体育大会 日程

新型コロナウイルス感染症の影響により、第60回大会が中止となったため、2年ぶりに第61回大会が東北大学主管で開催されました。結果は、東北大学が見事大会史上初の4連覇を達成しました。次回は東京大学主管で開催され、東北大学は更に記録を更新すべく5連覇を目指しています！

競技種目	北海道大学		東北大学		東京大学		名古屋大学		京都大学		大阪大学		九州大学	
	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点
1 アーチェリー	5位	2点	4位	3点	1位	8点	6位	1点	3位	4点	2位	6点	-位	0点
2 アイスホッケー	4位	4点	3位	6点	1位	10点	7位	1点	2位	8点	6位	2点	5位	3点
3 応援団(準競技種目)	-位	0点	-位	0点	-位	0点	-位	0点	-位	0点	-位	0点	-位	0点
4 空手道・男子	1位	10点	6位	2点	5位	3点	7位	1点	3位	6点	4位	4点	2位	8点
5 空手道・女子	1位	10点	5位	3点	7位	1点	4位	4点	3位	6点	2位	8点	6位	2点
6 弓道・男子	3位	6点	5位	3点	2位	8点	4位	4点	7位	1点	6位	2点	1位	10点
7 弓道・女子	1位	10点	2位	8点	7位	1点	5位	3点	6位	2点	3位	6点	4位	4点
8 競泳・男子	4位	4点	5位	3点	1位	10点	7位	1点	6位	2点	2位	8点	3位	6点
9 競泳・女子	6位	2点	3位	6点	4位	4点	7位	1点	5位	3点	2位	8点	1位	10点
10 剣道・男子	7位	1点	1位	10点	3位	6点	6位	2点	5位	3点	2位	8点	4位	4点
11 剣道・女子	3位	6点	4位	4点	1位	10点	7位	1点	5位	3点	6位	2点	2位	8点
12 航空(中止)	-位	0点	-位	0点	-位	0点	-位	0点	-位	0点	-位	0点	-位	0点
13 硬式テニス・男子	4位	4点	2位	8点	6位	2点	1位	10点	5位	3点	7位	1点	3位	6点
14 硬式テニス・女子	4位	4点	5位	3点	2位	8点	6位	2点	7位	1点	3位	6点	1位	10点
15 硬式野球	5位	2点	2位	6点	1位	8点	4位	3点	3位	4点	6位	1点	-位	0点
16 ゴルフ	4位	4点	2位	8点	6位	2点	3位	6点	1位	10点	5位	3点	7位	1点
17 自動車	5位	2.5点	2位	8点	3位	6点	7位	1点	5位	2.5点	4位	4点	1位	10点
18 柔道	1位	10点	2位	8点	3位	5点	5位	2点	5位	2点	5位	2点	3位	5点
19 準硬式野球	-位	0点	4位	2点	5位	1点	2位	4点	-位	0点	3位	3点	1位	6点
20 少林寺拳法	6位	1点	2位	6点	3位	4点	-位	0点	5位	2点	1位	8点	4位	3点
21 水球	-位	0点	3位	4点	1位	8点	4位	3点	6位	1点	5位	2点	2位	6点
22 スキー	-位	0点	3位	4点	6位	1点	1位	8点	2位	6点	5位	2点	4位	3点
23 相撲	1位	10点	4位	2点	3位	3点	2位	4点	5位	1点	-位	0点	-位	0点
24 ソフトテニス・男子	4位	4点	2位	8点	7位	1点	5位	3点	1位	10点	6位	2点	3位	6点
25 ソフトテニス・女子	2位	8点	4位	4点	6位	2点	1位	10点	7位	1点	3位	6点	5位	3点
26 ソフトボール	5位	3点	2位	8点	7位	1点	4位	4点	6位	2点	3位	6点	1位	10点
27 体操	5位	3点	7位	1点	2位	8点	6位	2点	3位	6点	1位	10点	4位	4点
28 卓球・男子	2位	8点	5位	3点	3位	6点	7位	1点	1位	10点	6位	2点	4位	4点
29 卓球・女子	5位	3点	6位	2点	4位	4点	2位	8点	1位	10点	7位	1点	3位	6点
30 馬術	2位	6点	1位	8点	5位	2点	4位	3点	3位	4点	-位	0点	6位	1点
31 バスケットボール・男子	4位	4点	2位	8点	5位	3点	6位	2点	7位	1点	1位	10点	3位	6点
32 バスケットボール・女子	7位	1点	1位	10点	5位	3点	6位	2点	3位	6点	2位	8点	4位	4点
33 バドミントン・男子(中止)	-位	0点	-位	0点	-位	0点	-位	0点	-位	0点	-位	0点	-位	0点
34 バドミントン・女子(中止)	-位	0点	-位	0点	-位	0点	-位	0点	-位	0点	-位	0点	-位	0点
35 バレーボール・男子(不成立)	-位	0点	-位	0点	-位	0点	-位	0点	-位	0点	-位	0点	-位	0点
36 バレーボール・女子	6位	2点	2位	8点	4位	4点	5位	3点	7位	1点	1位	10点	3位	6点
37 ハンドボール(中止)	-位	0点	-位	0点	-位	0点	-位	0点	-位	0点	-位	0点	-位	0点
38 フェンシング	-位	0点	1位	4点	2位	3点	-位	0点	3位	2点	4位	1点	-位	0点
39 ヨット	6位	2点	4位	4点	2位	8点	7位	1点	1位	10点	5位	3点	3位	6点
40 ラクロス・男子(中止)	-位	0点	-位	0点	-位	0点	-位	0点	-位	0点	-位	0点	-位	0点
41 ラクロス・女子	6位	1点	5位	2点	3位	4点	1位	8点	2位	6点	-位	0点	4位	3点
42 陸上競技・男子	5位	3点	4位	4点	6位	2点	1位	10点	3位	6点	2位	8点	7位	1点
43 陸上競技・女子	6位	2点	3位	6点	7位	1点	1位	10点	2位	8点	4位	4点	5位	3点
44 陸上ホッケー	5位	1点	-位	0点	2位	4点	1位	6点	4位	2点	3位	3点	-位	0点
総合成績	6位	139.5点	1位	187点	3位	165点	7位	135点	5位	155.5点	4位	160点	2位	168点

- 東北大学では、以下の部が七大学に参加しています!!**
- アイスホッケー部
 - スキー部
 - 航空部
 - 馬術部
 - 柔道部
 - 男子バスケットボール部
 - 女子バスケットボール部
 - 少林寺拳法部
 - 硬式野球部
 - ヨット部
 - 剣道部
 - 水泳部
 - 空手道部
 - 陸上競技部
 - 男子テニス部
 - 女子テニス部
 - ハンドボール部
 - 相撲部
 - 卓球部
 - 硬式野球部
 - 男子バレーボール部
 - 女子バレーボール部
 - 準硬式野球部
 - バドミントン部
 - ハンドボール部
 - ゴルフ部
 - 卓球部
 - フェンシング部
 - 弓道部
 - アーチェリー部
 - 自動車部
 - ソフトボール部
 - 軟式野球部



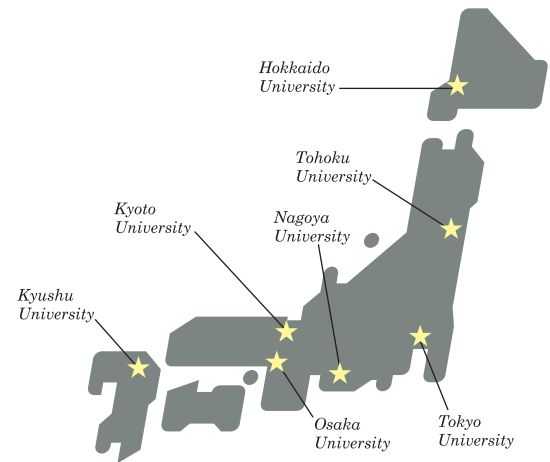
「七大学戦」という言葉を聞いたことがあるでしょうか？
 七大学とは、正式名称を「全国七大学総合体育大会」といって、旧帝国大学の北海道大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、九州大学の七つの大学の運動部が一堂に会して行われる、一年一度の大きな大会です。
 一年をかけて約四十もの競技が行われ、参加人数は約八〇〇〇人にもほり、学生が自主運営する最大規模の大会です！



大会実行委員長挨拶
 第62回全国七大学総合体育大会
 実行委員長
松尾 一輝

新入生の皆さん、ご入学誠におめでとうございます。
 皆さんのこれまでの努力に敬意を表しますとともに、これからの大学生活が充実したものになりますよう、願っております。
 大学でもスポーツを続けようと思ってる諸君、あるいは新たにスポーツを始めようと思ってる諸君、はたまた全くスポーツなんて興味ないと思ってる諸君へ。
 東北大学を含む7つの旧帝国大学(北海道大学・東北大学・東京大学・名古屋大学・京都大学・大阪大学)には、毎年母校のプライドをかけて戦う「日本一熱い総合体育大会」があります。通称「七大学戦」。参加種目は43を数え、8,000人を超える旧帝大アスリートが一堂に会し、激しい競争を繰り広げ、人呼んで「旧帝大のオリンピック」。普段は別々の競技で活動する同輩とも、競技の垣根を越えて団結し、総合得点を争う、独特の熱気がこの大会にはあります。
 各大学の持ち回りで運営され、今年は東京大学が主管となり皆さんをお迎えます。
 今年で62回を数える伝統あるこの大会は、学生紛争の真只中も途絶えることなく、現役選手はもちろん、OBOG、大学総長までもが大会の結果に注目し、全宇を挙げて応援されてきました。また、学内にとどまらず、学問とスポーツの両立を目指す姿勢は、学外にも大きな反響を及ぼしてきました。
 実は皆さんの母校にもなる東北大学は、この「七大学戦」においても目置かれてきた存在です。昨年大会(東北大学主管、史上初の4連覇を成し遂げ、また東北大学が主管となり開催された大会)では全て総合優勝を果たすなど、輝かしい戦績を誇っております。それだけに学生や卒業生に熱狂的なファアンも多く、皆さんが七大学戦での活躍を夢見てスポーツに打ち込むには、これほど恵まれた環境はないといえるでしょう。
 長いようであつという間の大学生活。
 新入生の皆さんもぜひ、大学スポーツというものに関わりを持っていただき、「七大学戦」という並々ならぬ熱気の舞台を経験してみませんか。勉強では日本を代表する大学に入学された皆さんですが、スポーツで母校のプライドをかけて、本気でタイトルを狙ってみませんか。
 この文章を読んでいる皆さんが、いつか「七大学戦」の主役として活躍される日が来れば、これ以上嬉しいことはありません。
 それでは今年の決戦の地、東京で皆さんをお待ちしています。
 私も東京大学のアスリートの一人として、皆さんの5連覇を阻止する所存です。全力でぶつかりましょう。

各委員長の熱いメッセージ



七大学の 委員長から 新入生の みなさんへ

東北大学の新生の皆さん、ご入学おめでとうございます。大阪大学体育会の委員長の脇本です。

「北雄」を開き、このページを開いてくれた皆様に、私からは部活動の良さを手短かに紹介できたいと思います。

部活動の良さの一つは、部活動を通して、地元も趣味も性格も学部も全く異なる人たちが集まり、皆で同じ競技に向き合い、一つの目標に真剣に取り組むことができる、というところです。様々な学部の人たちと関わり合う機会は、大学生活において屈指の貴重な経験になります。部活動はそのための場所としてこれ以上ないくらい良い環境です。

もちろん大学生活の楽しみ方は部活動だけではなくあります。サークルやボランティアなど他にもたくさん挑戦できることはあります。そして大学は挑戦するのうってつけの環境と言えるでしょう。

様々な挑戦を通して、東北大学にご入学されたみなさんの大学生活4年間が充実したものになるよう、心から祈っております。



Osaka University

大阪大学体育会 委員長
脇本 典青

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。受験を乗り越え、楽しい大学生活を思い描いている事でしょう。今までより自由になった分、様々なことに「挑戦」して欲しいと思います。

大学の部活動・サークルの中には、今までに聞いたことがないものもあると思います。そういったものに入るのも挑戦の一つですし、もちろん、これまで続けてきたものでも再びはじめるのも挑戦の一つです。部活動・サークルに入り、様々な人と出会うことで、強い刺激をもらい、新しい世界を見ることが出来ます。

何事にも失敗はつきものです。失敗することは辛いことかもしれませんが、その失敗こそが成長するための薬となります。成功へと導いてくれると思います。ですので、失敗を恐れず、挑戦する心を持って、大学生活を過ごしてみたいかがでしょうか。

最後になりますが、皆様の大学生活が充実したものであることを、心よりお祈りしております。



Hokkaido University

北海道大学体育会 委員長
橋爪 健宏

新入生の皆さん、東北大学へのご入学誠にありがとうございます。受験を乗り越え、新たな地で何をしたいか、何を期待していることを躍らせていることと思います。

大学生の間皆さんは、これまでよりも多くの時間を自分の好きなように使うことができます。勉学に励むもよし、サークル活動やバイトに打ち込むもよし、すべて自分次第です。皆さんには、その選択肢に「体育会」を入れてみてほしいと思います。中高の部活動よりも主体的な取り組みが求められる環境で、共に一つの目標に向かって本気になれる、かけがえない友と出会えることでしょう。最後の青春を懸けられる場所を、東北大学の学友会体育部で見つけてみませんか？

未筆ながら、部活動があれ他のものであれ、何か熱中できるものに出会うことで、皆さんの大学生活が実りあるものになることを心よりお祈りいたします。



Kyoto University

京都大学体育会 幹事長
尾崎 永季

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

入学したばかりの皆さんは、コロナ禍における厳しい大学受験を乗り越えた喜びと、これからの新生活への期待と胸を躍らせていることかと思えます。

大学は皆さんの想像以上に自由な場所です。いろいろな選択肢があり、その全てに今までの学生生活では得られなかったような魅力がたくさん詰まっています。そして自分が選んだ選択肢は、何度だって選び直して再チャレンジすることができます。

ですから、どうか自分が「チャレンジしたい」と思えばいいなと思います。全力でチャレンジし続ければ、きっと大学という場所は皆さんの期待に届えてくれるはずですので、そのチャレンジの舞台が体育会の部活動であれば、同じ七大学の体育会委員長としてこんなに嬉しいことはありません。

皆さんの大学生活が様々なチャレンジに彩られ、何十年後でも誇れるものになることを心より祈っております。



Tokyo University

東京大学運動会総務部 委員長
竹内 誠一

東北大学新入生の皆様、初めまして。九州大学体育会総務委員会委員長の郭秀嘉（かくしゅうか）と申します。まず初めに、今回この「北雄」での寄稿のご依頼をいただきまして、関係者の皆様へ改めて御礼申し上げます。東北大学学友会体育部の皆様と初めましてお会いしたのは、昨年秋ホーテルで行われた七大学開会式の場でした。コロナ禍での委員長の就任で不安を抱えていた中、東北大の前幹部の皆様、及び現委員長の関根様をはじめとした他七大学の幹部の皆様と東北生協で昼食を取り、楽しいお実のある時間を過ごすことが出来ました。皆様と他愛ない話をしていく中で、徐々に緊張がほぐれ、次年度に向けたモチベーションが湧いてきたことをよく覚えております。七大学の同期とともに、今年東京大学にて行われる七大学総合大会で七大学体育会の更なる発展に尽力していきます。東北大学新入生の皆様、東北大学体育会への入部と七大学への参加を心よりお待ちしております。



Kyushu University

九州大学体育会総務委員会 委員長
郭 秀嘉

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

皆さんは今、大学という新たな環境に胸を躍らせていることかと思えます。大学の特徴といえれば、なんと言っても自由な時間がたくさんあることです。その時間をバイトにつき込む人、勉強に打ち込む人、遊びに費やす人、様々です。

その中でも特に私が「部活動」です。大学まで行って部活をするなんて、という人もいるかと思いますが、頻度や活動時間、熱量は部活によって様々なので自分に合った部があるはずです。

集団生活の中に身を置く、同じ目標に向かってみんなが実践、反省を繰り返しながら努力するなど、社会に出てから必ず役に立つスキルも身に付きます。

また、助け合える、信じ合える同期ができるということも、部活に入ることの大きな魅力だと思っております。

皆さんが一生付き合っていく大切な仲間に出会い、充実した大学生活を送ることをお祈りいたします。



Nagoya University

名古屋大学体育会 委員長
大倉 一乗

感動と絆に出会う旅を



オヤマグループ株式会社 

国際観光 ・ 国際トラベル

宿泊・交通：大会遠征・交流戦・七大戦

TEL：022-281-8418